兵庫県立はりま姫路総合医療センター

形成外科

指導担当医（役職）

小川　晴生（診療科長）

実習概要

実習コース

２週間コース

概要

形成外科では、手術への参加を中心とした実習を行います。手術を受ける患者さんの入院、術前準備、手術、術後管理を通して、形成外科の対象となる疾患とその治療について学習します。また、病棟での創部処置、救急外来での対応や緊急手術への参加を通して、外傷に対する学習を行います（救急外来や緊急手術への参加は任意です）。形成外科が対象とする疾患は多岐にわたります。そこで、希望に応じて手術だけでなく外来見学を通して、形成外科の対象となる疾患について学習することも可能です。

実習スケジュール

1．主治医団としての実習：毎朝、担当症例を診察し、病状を把握する。
2．カンファレンス：火曜日の術前カンファレンス、金曜日の術後カンファレンスに参加し、形成外科疾患は治療を学習する。
3．手術実習：実際に手洗いをして助手として手術に参加する。その中で、形成外科的な手術手技について学習する。
4．救急外来見学：任意
5．外来見学：任意

学生へのメッセージ

形成外科は対象とする疾患、臓器が多岐にわたることから、地域や病院によって診療の対象となる疾患が異なることがあります。“はり姫”は、はりま姫路地域で最大の病床数を持つ病院であり、５名の形成外科スタッフを抱えていることから、広範囲の形成外科疾患に対する診療を行なっています。顔面や四肢外傷、難治性創傷の治療、マイクロサージャリーを用いた各種再建外科など、さまざまな形成外科疾患、手術を学習することが可能だと思います。

形成外科は生死に関わる疾患を治療する機会は多くはありません。その一方で、それぞれの患者さんが生活の質を保ち、より良い人生を送ることができるように治療を行う診療科です。一般的な医学のイメージとは異なるかもしれませんが、大いにやりがいのある医療だと思います。実習生の皆さんのお越しをお待ちしています。